

星屑

2011年8月号

No. 437



M17 いて座の散光星雲

M17 いて座の散光星雲

タカハシε-160 20分露出

2011年6月24日 熊本市城南町

熊本県民天文台

6/11(土) 天文台の印刷機が故障 星屑の発行が遅れました

6月20日（月）と、28日（火）に修理作業を実施
モーターなどの部品を交換して、無事に復旧しました。

6/28(火) テレビ局の撮影に備えて 草刈り作業を行いました

「秘密のケンミンSHOW」製作スタッフから電話があったので
撮影日前に、刈っておこうと・・・・ 蒸し暑かった!!



取材は2度目？

県民天文台が秘密のケンミンSHOWに登場するのは、これが2度目。前回は、県民天文台で発見して名前を付けた小惑星=「KUMAMOTO」の話題でした。その時は、発見時の画像の提供などを求められたのですが、今回は「外からの撮影だけです」というお話。それも「看板を撮影させて下さい」という要請。いったいどんな登場の仕方になるのでしょうか？

彗星観測用望遠鏡を更新

鏡筒は、30cmリッチークレチャン式に

架台は、タカハシJP型を自動導入に改造



JPを改造、自動導入に！

県民天文台の彗星観測ドームで、ライフケークの彗星観測に頑張っている小林寿郎氏（副台長）が、観測に使っている望遠鏡の鏡筒と架台を更新することになり、現在その作業が進んでいます。

架台は、これまでのタカハシJP型+スカイセンサー2000PCから、同じくタカハシのJP型+マイクロステップ駆動で自動導入可能なシステムに変更。信頼性と操作性の向上を図るのだそうです。

これまで使ってきた架台は、歯車の遊びが大きくなっていましたから、これで、グッと使い勝手が良くなるはず。

鏡筒は30cmリッチークレチャン

一足先に届いていた鏡筒、架台の駆動装置ができあがるまで、天文台のミーティングルームに転がされていたのです。しかし、7月2日（土）に、ついに彗星観測ドームに運び上げられ、旧システムとの入れ替え作業が行われていました。

そして、・・・

7月8日（金）、ようやく機材の入れ替

えが一段落、鏡筒を乗せた架台・駆動装置・パソコンとが繋がり、スムーズに制御できるところまでたどり着きました。

赤道儀架台を入れ替えていきますので、観測を再開するためにはもう一度極軸を合わせ直す必要があります。その作業は北極星が見えさえすれば何とかなるはず。

数日中に、新しい観測システムでの彗星観測が再開される予定、その成果に期待が集まっています。



7月7日 (木)

たなばた

七夕 ですから 特別公開

雲は多かったけど、賑わいました！



お屋過ぎから

電話での問い合わせがポツポツ入り始めました。マスコミで「今日は7月7日、七夕です」と、何度もアナウンスされたからでしょう。

夕方が近づくにつれ、しだいに電話がかかる間隔が短くなって・・・・

「今夜は賑わいそうだ！」と、覚悟を決めました。



空には一面の雲！

しかし、空には分厚い雲が数層に重なって広がっており、所々に小さな隙間がある程度です。そこで、問い合わせには、「今夜は特別に公開します」、「しかし、星は、雲の隙間から見える程度でしょう」、「出かける前に空を見上げて、星が見えているか確かめてから、おいで下さい」と、しつこいくらいに念を押しました。

お客様が来ない！？？

ところが、19時に開台したのに、しばらく待っても来台者がありません。それなら・・・と、望遠鏡を真西の地平線に向け、そこから自動導入をして、青空の中（というよりも、雲の隙間）に光っているはずの水星を探しました。しばらくは雲に隠れていて発見できなかつたけれど、やがてファインダーの中にポツンと光る小さな光点を発見、41cm鏡で覗いてみると、間違いなく水星でした。こうして、しばらくは自分1人で楽しんでいたのです。

20時を過ぎてから

一家族、・・・また一家族と、来台者がやってきました。この時期、日没が19時半頃、空が少し暗くなり始めるのが20時頃ですからね。まあ、出足はこんなものでしょう。その頃、会員の橋本さんご夫妻がおいでになって、解説の応援を始めて下さったので大助かりでした。時折雲が広がったり、逆に少し晴れ間が広がったりを繰り返していましたが、21時を過ぎても次々とお客様がやってきました。

結局、22時20分頃まで、熱心なお客さんに囲まれて、七夕の夜が更けていきました。

**7/13(水) YMCA学院高等学校
「天文講座」
月と土星の観察、デジカメや携帯で撮影**

**7/29(金) 白旗小学校4年生「星の観察会」
夏の大三角と星の動きの観察法**

**7/30(土) フィールドミュージアムへ飛びだそう！
「星の観察入門」 20:00～**

8/20(土) 10:00 ~
熊本市労働者福祉センター サンライフ熊本 にて
「驚きの宇宙ばなし」
お問い合わせ先
<http://kumasan.net> TEL : 096-345-3511

9/12(土) 20:00 ~
フィールドミュージアムへ 飛びだそう!
「中秋の名月を見よう、写そう」
主催:県文化企画課
TEL : 096-333-2155

10/22(土) 熊本市城南公民館主催 「夏と秋の星座の観察」 星の観察会

A horizontal row of fifteen five-pointed star icons, each consisting of a dark blue outline and a light blue fill.

平成24年 3/10(土) 熊本市城南公民館主催 星の観察会 金星と木星の大接近 冬の星座と春の星座

ちょっと一眼

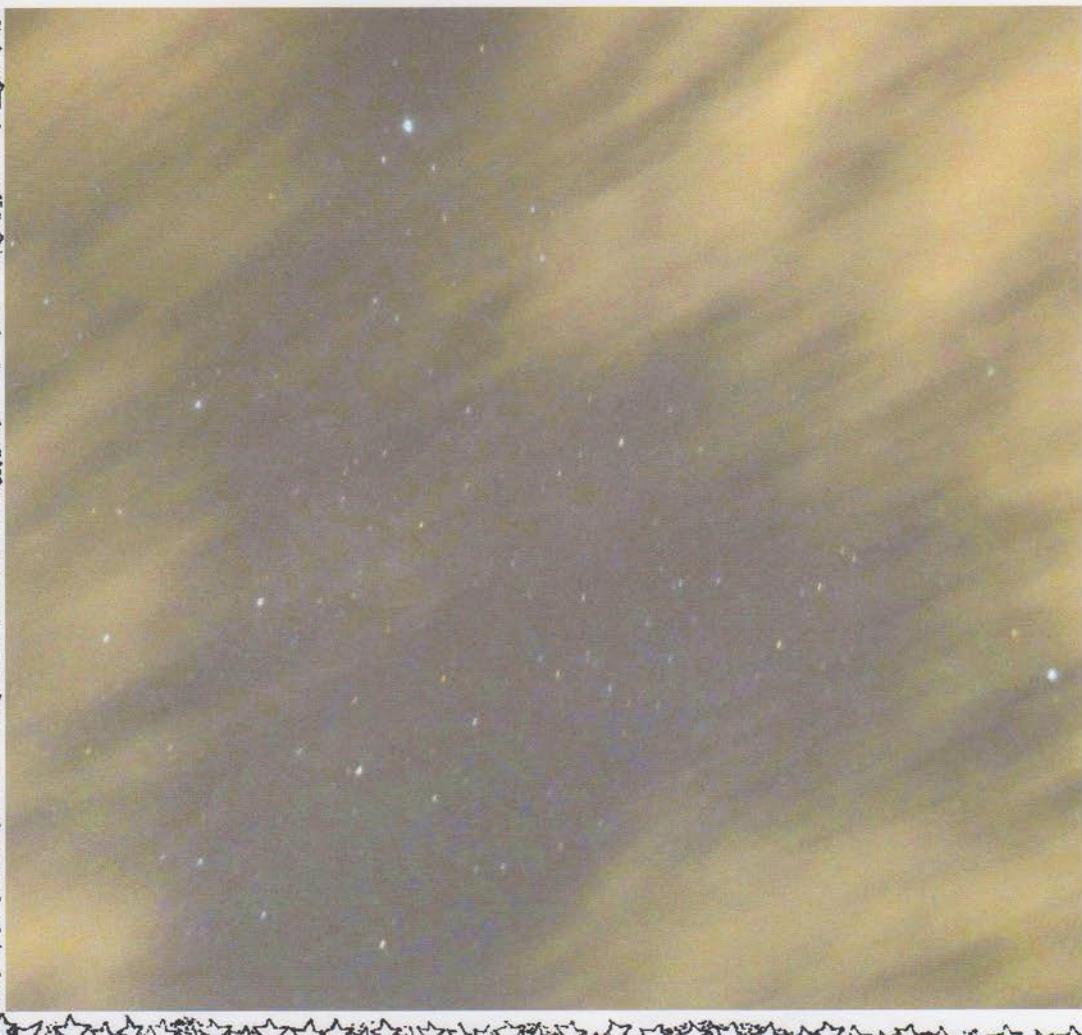
Poem & Illustration

6月いっぱい降り続いた梅雨も、どうにか明けました。今年はじめじめしとしとに加えて豪雨もあり、6月の降水量としては記録的な多さに。しかも雨が降らない日もほとんど曇りで、まともな星見はできませんでした。

今年はちょっと早い梅雨明けだったのですが、それでも快晴の七夕…とはいきませんでした。せっかくライトダウンイベントが実施されたんですが…やはり、七夕は旧暦の7月7日ですね。

そういえば、節電の夏ということで、夜間の照明もかなり見直されているようです。暗くなったことのマイナス面が強調されがちな節電対策ですが、今までが、不要な光を出しすぎですよね？

ということで、ほんのちょっぴりでも、暗くなった夜空を、今年は楽しめるかなあと、期待しているこの夏です。



七夕

月の船が出る
と 言うので
急いで 支度をした

夕暮れ

燃え上がる雲がどこまでも広がり
空を焼き尽くすかに見えたが

わたしは

船着き場を探して彷徨っていた
誰に訊いても答えが返ってこない
月の 船着き場
誰に訊いても返ってくるのは
月の船が 出るということだけ

もう

夕暮れとは言えない 間に沈んだあたりを
ゴマダラチョウが 羽音を立てて 飛んでいく
確かにその方向は
天の川をはさんで
織姫と彦星が 向かい合っているあたり の はず



By Dio

2011年6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 7日／12日=58.3% 総開台日数 14日
一般来台者数 6名 会員来台数 17名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
3日 (金)	曇り	小林J 西嶋 高田	3人	土星、スピカ、しし座γ 一般公開終了かというときに一組来台。日没後にはほぼ快晴だった空が、だんだん雲がちになり、お客様が来られたときには春の大三角形がやつと。でも、土星の見え味はなかなか出、感激されました。 土星の手持ちコリメート
4日 (土)	曇り	中島	0人	くもり、少し晴れ間。 だれも来ないので帰ります。
5日 (日)	雨のち晴れ	艶島	0人	朝は雨、昼間は曇り、でも夕方から青空が見え始めました。 18:45到着、観測室に上がったら・・・・ スズメのフンだらけ!! 4羽ぐらい進入していました。急いで大掃除。 それから、進入口がどこか調査。スライディングレールの南西端を応急修理しました。→恒久対策が必要です。
11日 (土)	雨	中島 中島、艶島 西嶋、小林J 小林M 橋本夫妻	0人	Talk About 印刷機が故障して印刷できず。Talk Aboutのみ実施。後日印刷して発送予定。
18日 (土)	雨	中島 小林M	0人	星屑発送作業 二人で昼間に発送しました。
20日 (月)	雨	艶島	2人	北星堂 安達さん 印刷機が故障したので点検してもらいました。原版をドラムに固定する部分のモーターが故障と判明。部品を取り寄せ、来週に交換することになりそうです。

日付	天気	担当運営	来台数	記事
20日 (月)				熊本市労働者福祉センター 興梠さん 8月20日 天文セミナーの打ち合わせ。 チラシを受領しました。
24日 (金)	晴れ	小林J	0人	梅雨の中の信じられない快晴!! 来台者なしにつき、21hにドームにこもります。
26日 (日)	曇り	艶島	0人	夕方、空が明るくなってきたので（雲が薄くなつた？）開台。 でも、来台者なし。
28日 (火)	晴れ	艶島	1人	北星堂 安達さん 印刷機の修理 天文台敷地の草刈り。 ※「秘密のケンミンSHOW」が土曜日（2日）に撮影にくるそうです。 看板だけかもしれないけど??

この6月は記録的な大雨が降り、熊本市でも累積雨量が1000mmに達しました。1年の雨量の半分をわずか2週間ほどで記録したことになります。7月に入っても安定した晴天は望めそうもありません。早く梅雨明け後のすかと晴れた空を望みたいものです。

そんな中、24日（金）のすばらしい星空は梅雨の合間の贈り物でした。透明度も抜群で月が昇ってきた1時頃まで、夏の天の川を堪能しました。久しぶりに撮影も出来、大満足の一夜でした。

しかし、その後は再び曇りや大雨が続きさせない星空です。そこうしているうちに月も大きくなってきました。なかなか思うようにいかないものですね。

さて、今年の夏休みはどうでしょうか。月が小さくなる7月下旬から8月始めの天候が気になりますね。晴天を祈りましょう!

中島

この原稿を書いている時は梅雨明けしていないので、せめて星屑が届く頃までには梅雨明けしてほしいなあと思っております。最近の雨の降り方って、何でこうドドドーっと降るのでしょうか。温暖化の影響？ほんの少しだけ昔の、私が子供の頃の梅雨ってシトシト雨という記憶があるのですが。今ではドドドーっと降って、川が溢れそうになります。なんだかなあ(-_-;) 8月こそ、綺麗な星空を見たいものですね。☆彌

☆8月の天文現象＆行事☆

- 1日（月） やぎ座α流星群が極大のころ
- 4日（木） 27P/クロンメリソ彗星が近日点を通過(04:17 周期27.9年)
- 6日（土） 旧七夕（伝統的七夕） 上弦（20:08）
- 7日（日） みずがめ座ι南流星群が極大のころ 小惑星ベスタが衝（09:36 5.6等）
- 8日（月） 立秋(りっしゅう)…暑気はまだ強いが涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋)
- 12日（金） 今夜から13日にかけてペルセウス座流星群が見られる
今年は月が大きいため、観測にはあまり適さない
- 13日（土） ペルセウス座流星群が極大
- 14日（日） 満月（03:57）
- 15日（月） 金星が外合（07:35 -3.9等、視直径09.6")
45P/本田・ムロコス・パジュサコバ彗星が最接近(06:26 0.0601天文単位 周期5.3年)
- 16日（火） 水星が内合（12:22 4.8等、視直径11.0")
- 18日（木） はくちょう座κ流星群が極大のころ
- 20日（土） みずがめ座ι北流星群が極大のころ
トークアバウト（天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります）
- 22日（月） 下弦（06:54）
- 23日（火） おうし座κ星(4.1等)の食（福岡：明縁から潜入 00:30→01:29)
海王星が衝（13:27 7.8等、視直径02.3")
処暑(しょしょ)…旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く)
- 29日（月） 新月（12:04）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2011年8月号 通巻437号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで